



ラウンジ QR コード

# 「外国人に どうしたら 伝わるの？」

117号では「やさしい日本語を使って暮らそう！」をテーマに、やさしい日本語とは何だろう、やさしい日本語はいつから使われ始めたのだろうか、役に立っているだろうか、を紹介しました。  
今回は、「やさしい日本語」を外国人に使って地域で活動をしている団体、「生活情報ネットあ・つ・み」の中島さん、「サロン・デ・チャルラス」の村上さんの二人に、「やさしい日本語」を使って感じたことを進行役と一緒に語っていただきました。

## 「やさしい日本語」は、どのように使えばよいのでしょうか？

**進行**：団体の活動を分かるようにお話しください。

**中島**：区役所や市役所の情報が外国人に伝わっていません。困っている外国人がたくさんいます。生活に必要な情報をわかりやすく届けたいと思っています。日本で生活する時の情報を地域の生活情報紙「わたしのまち」として2003年から作りました。外国人に「やさしい日本語」を使って毎月、3つの区、青葉（あおば）区、都筑（つづき）区、緑（みどり）区、の情報を伝えています。（生活情報ネットあ・つ・み）

**村上**：「みどり日本語の会」は1984年に日本語クラスを始めました。活動の一つとして外国人に地域の情報を伝えるために始めました。病院の問診票、年金、生活などをやさしく説明することから始めました。生活を支援するために、外国人と日本人が、さまざまな違いを理解し合い、安全・安心に、楽しく生活できることを目標にしています。おしゃべりをしながら集まる「ギャザリング」、日本語支援としての「日本語クラス」を青葉区、都筑区でおこなっています。（サロン・デ・チャルラス）

**進行**：「やさしい日本語」で文章を書くのはとても難しいです。「やさしい日本語」のつもりが、外国人には難しく、わからないところを聞いてきます。私たちが考えている「やさしい」だけではダメなことがわかります。日本人であれば、伝えたいことのまわりの状況をすでに知っていることでも、外国人には知らないことだと気づくことが大切です。外国人には初めてのことで、それがぶんやことばで書いてある。日本人には分かるから、当然伝わっているはずだと思ってしまうことが理解の妨げになっています。そんな経験はありますか？

**村上**：「やさしい日本語」というものが何であるのか、わからない外国人がいます。外国人にも分かる「やさしい日本語」を使ったインターネットのサイトがあることにも気が付いていない。まずこのあたりから、活動を広げる必要があると思っています。



3つの区の情報を集めています。



「サロン・デ・チャルラス」代表 村上さん

「生活情報ネットあ・つ・み」代表 中島さん

横浜市青葉国際交流ラウンジは、横浜市の委託を受けて NPO 法人横浜青葉国際交流の会が運営しています。

# いくらやさしく書いても、「やさしい日本語」にならない





## 漢字にひらがなでフリガナをつけよう

**中島:** 「あ・つ・み」では、広い地域のいろいろな情報を外国人に伝えるだけでなく居住地域の情報に限っています。広い地域のこととは、自分が住む地域とは違って、あまり身近ではないので外国人の中には理解に苦しむ人もいます。青葉区に住む外国人にとって神奈川県全体のことは、やさしい日本語で書いても「やさしい」とはならないのです。居住地域の情報は、身近なことだから、周りの様子から分かることがあります。自分にとって役立つと思いますので、普通の日本語で書いてあっても、やさしいのです。「わたしのまち」に書く内容は、毎月家に来る区役所からの広報紙から選んでいます。日本語を習い始めた外国人が分かるような日本語を使っています。書き方も、文節の切れ目を分ける「分かち書き」をしています。日本語は外国語と違って、文章の切れ目がどこにあるのかわかりにくい。また、いくらやさしく書いても、内容が外国人の知っていることと違ってると、やさしい日本語とは言えません。日本語の書き方が上手なことだけではないのです。また、ひらがなで書くことが、やさしい日本語だと思いがちですが、そうではないと気づくことがたいせつです。ひらがなだけで書いてあっても、わかりにくいのです。漢字も書き、それにフリガナをつけて文章を書くのがよいのだと思います。

**進行:** 私が協力している外国語のラジオ放送でも、一つの言語として「やさしい日本語」放送もあります。いくらやさしい日本語を使っても、音だけなので伝わりにくいところがあります。「さいきん」と言っても「最近」なのか「細菌」なのかどちらか、分かりません。日本語には同音異義語（同じ発音で違う意味のことば）がたくさんあるためです。同音でも漢字が書いてあれば、フリガナで辞書をひき、漢字を見て意味が分かると、使うことができるようになります。ひらがなだけで書くのではなく、漢字にフリガナをつけることの大きな理由です。

—やさしい日本語を書くために—

(やさしい日本語)  
漢字+フリガナ →

は  (やさしい日本語)  は葉  は歯  は刃

**村上:** 外国人と話している時、音だけでは理解されなないことがあります。やさしい日本語に直して説明するより、漢字を使って説明することがあります。やさしい日本語やひらがなだけでは、同音がたくさんあり、わかりにくいからです。

**中島:** こんな経験もありました。ある外国人は、漢字が読めなくても、その漢字の形を覚えていて、知らない土地の区役所で迷うことなく用事を済ませることができたそうです。日本語の漢字をイメージとして覚え、他の地域で漢字が読めなくても、覚えていたイメージで掲示板の窓口に行ったというのです。漢字をイメージとして覚えていて、同じイメージが含まれている窓口へ行ったのです。

**村上:** 区役所などでも漢字にフリガナをつけてくれるといいですね。

**進行:** 区役所ではそれぞれの窓口番号が書いてあります。日本人向けで、これはダメです。おなまどちちいさきばんごうちがにほんじんむおなまどちちいさきばんごうちがにほんじんむおなまどちちいさきばんごうちがにほんじんむ同じ窓口でも地域によって番号が違うことがあります。またローマ字もだめで、むしろ絵文字のようなものがないのではないのでしょうか。その絵文字を日本中で同じにすると、外国人にやさしくなります。

—やさしい日本語を書くために—

(やさしい日本語)  
やさしく言い換える

立入禁止 → 入ってはいけません

たちいりきんし

皆さんは、やさしい日本語に書き換えるとき、基準をどこに置きますか。また、どのようにやさしくしていますか。

**中島:** まず普通の日本語で書かれている文章をやさしく直します。それを「やさしに」アプリにかけます。どの程度の日本語なのか、1～5のレベルで表してくれます。レベル3ぐらいを基準にしています。日本語能力試験の初級を終わった人には苦労しながらでも読めるレベルを基準に書き直します。

## 相手が違えばやさしい日本語も違う

**進行:** やさしい日本語は、話しあう外国人によって違い、またその外国人が住む地域が違えば、やさしい日本語のレベルも違います。話し相手や住む地域によって、やさしさレベルも変わってくるのではないのでしょうか。

**村上:** その通りだと思います。日本人がやさしいかと思って書いても、外国人がそのように受け取るかどうか考えておく必要があります。これは、外国人に対してだけでなく、日本人のお年寄りや小さい子どもたちにとっても言えることです。話し相手によってやさしい日本語は変化します。おなじレベルの「やさしい日本語」は無いと思います。

**中島:** ふだんから知っているのでも、日本人には分かることでも、外国人には伝わらない。もう少し、やさしい言葉での説明が必要な時があります。話し相手の外国人の日本語のレベルを分けることは難しいです。青葉区に住む外国人もいろいろな国からの人です。全員にわかりやすい「やさしい日本語」で話すことは難しいです。

**村上:** 相手に理解してもらうには、「ハサミの法則」(はっきり、さいごまで、みじかく はさみ) はもちろん大事ですが、伝えたいことを実際に書いて、その内容をやさしく説明することが大切だと思います。

**中島:** 子どもの言葉ではなく、大人の言葉で書くことと、日本のものは説明することが大事だと思います。

**進行:** 今日の話は、同じ地域に住む外国人と日本人と一緒に集まったり、話ができる場所を作ることが大切で、隣人として一緒に暮らすという考えです。そこで使う「やさしい日本語」は、ひらがなで子どもに話すような言葉ではなく、フリガナをつけた漢字を使うことが大切だということでしょうか。また、相手の日本語の理解の程度や相手の住んでいる地域、相手の社会生活状況によって、「やさしい日本語」はいろいろあるということでしょうか。「やさしい日本語」を決めるのは難しい。相手にあった、また地域にあった、伝わる、伝えることができる「やさしい日本語」をはやく見つけ、普通の日本語で書いてあるものをどのように伝えていくかが大切です。相手の外国人は日本語がわからないからと、すぐに英語などで話す人が多いです。しかし、外国語を話す必要はありません。やさしい日本語で紙に書いたりして、伝える方法を変えていく方が大切だとラウンジでは考えています。

**進行:** 最後に伝えたいことはありますか。

**中島:** 「やさしい日本語」を、日本語を教えている人や使っている人だけに限定しては良くありません。もっと多くの人たちが「やさしい日本語」を知り、「やさしい日本語」を次の世代に繋いでいく努力が必要なのではないでしょうか。その担い手は、若い人でなくてもいい、意欲のある中高齢者でも十分その役割の担い手になると思います。

**村上:** 地域住民が、外国人は地域と一緒にすむ住民だと考え、共に生活を送るという考えが欲しいです。また、繋いでいくことが大切だということも同感です。外国人と日本語を話すことは楽しく、興味がある若い人も出てきています。しかし、そのような若い人でも地域の情報をどのように伝えていくかということに興味を示してくれません。次の代には、話す楽しみと共に、外国人が私たち日本人と同じような情報を得て、地域を構成する側にいる、そのようなことを考える人になってもらいたいと思います。

## 2022年度に実施した活動の中からいくつか紹介



### 第74回 アフタヌーンティー

『知っているようで知らないブラジル』

日時: 2022年7月17日(日) 午後1時30分～3時

会場: 青葉区区民交流センター内 第5会議室

ゲストスピーカー: ネリア・マルチンス・アルベスさん

コロナの感染者数が増加しつつある中でしたが、消毒、検温、マスクを徹底し、参加者18名とスタッフ12名全員、楽しいひとときを過ごすことができました。



詳しくは  
QRからどうぞ



### 第28回 やさしい英語でレクチャー

『Diversity in Education ~ International Islamia School Otsuka ~』

日時: 2022年7月3日(日) 午後1時30分～3時30分

会場: 青葉区区民交流センター内 第5会議室

ゲストスピーカー: ホサム・ザイナー

「教育における多様性」をテーマに話をさせていただきました。参加者はスタッフも含めて26名。イスラム教を核とした教育は日本の小学校との共通の部分があれば、全然違う部分もあります。



詳しくは  
QRからどうぞ



### 第10回 高橋先生の英会話スキルアップ講座

『考える英語 ~ 英語らしさに迫る秘訣 ~』

日時: 2022年10月2日(日) 午後1時30分～3時30分

会場: 青葉区区民交流センター内 第5会議室

講師: 高橋基治 東洋英和女学院大学教授

24名の方が参加され高橋先生のお話に耳を傾けました。

今回の視点は「擬人化」。つまり人間を主語に立て「I'm not hungry.」という日本人と、「胃」を主語にしてあたかも人のように「My stomach doesn't want food.」と捉える英語ネイティブとの視点の違いについて。



詳しくは  
QRからどうぞ

手に入れられる場所: 地区センター、図書館、ケアプラザ、コミュニティハウス

青葉区内の東急田園都市線の各駅、地下鉄あざみ野駅に置いています。



ほん みち くにぐに みち ひとびと であ  
**本から未知の国々や未知の人々に出会えます。**  
 ほん ひとり さつ か  
**本はラウンジで一人2冊まで借りられます。**

●**にほんごで文化体験**

(著) 長谷川由香・池田幸弘・竹山直子  
 (監修) 村田晶子 (アルク)

実際に街を歩き、料理を作り、地域活動に参加して生きた日本語を習得するための実用書。みなさん、グループを作り教材に沿って行動してみましょう。

●**やさ日まんがJAPANガイド**

(著) 小川清美  
 (IBCパブリック)

「はい」「いいえ」など、間違えやすい日本語や、日本の習慣、マナーなどが、マンガを通じて学べます。

●**〈やさしい日本語〉と多文化共生**

(編) 庵 功雄・岩田一成・佐藤琢三・柳田直美  
 (ココ出版)

災害時の情報、日常生活のための官公物の情報など、外国人だけでなくあらゆる人々にやさしい日本語(わかりやすいことば)で伝える具体的な文章を紹介したもの。

2022年度スピーチ大会 9か国参加



日時: 2022年11月20日(日)  
 午後1時30分~3時40分

会場: 第5会議室

参加者: 出場者13名(12組)、司会者2名、担当スタッフ

参加国: 中国、ベトナム、セネガル、インドネシア、ベルギー

インド、スリランカ、カナダ、アメリカの9か国

学習成果の発表の場として、学習者による日本語スピーチ大会を開催しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を十分にとりました。吉田昌平先生(横浜国立大学教授)からは、各出場者へ励みとなる講評と全体を通しての総評をいただきました。

あまがやひでふみあおばくちょうらいひんあいさつ  
 天下谷秀文青葉区長から来賓の挨拶がありました。



**日本語をならいたい人!**

●**おとなのための教室(高校生以上)**

日本語教室 会費: 300円/月(どのクラスも)

水曜日 午前9時30分~11時  
 木曜日 午後6時30分~8時  
 土曜日 午前9時30分~11時



●**学習補習教室(無料)**

(外国につながりをもつ子どものためのクラス)

水曜日 (小学校入学1年前~小学6年生)  
 午後3時45分~5時15分  
 (中学生)  
 午後6時~7時15分

コロナの関係で時間が増えるかもしれません。窓口にお問い合わせください。

●**学習者のニーズや要望に沿った日本語学習だけでなく**

日本の文化や習慣など生活情報も伝えます。

●**外国につながる子ども達が学習するための日本語学習**

だけでなく、個々の学習補習、学校の宿題のサポートします。

編集後記

「やさしい日本語」に取り組んでいます。どのように使ったらいいのか、今回のインタビューから学びました。外国人にとってやさしい日本語とは、平仮名や、話し方ではなく、外国人が内容を知っている日本語であることです。話しあう外国人によって違い、住む地域が違えば、やさしい日本語は変わる。」このことは大きなヒントです。コロナがまだまだつづいていますが、ラウンジではいろいろとチャレンジしています。ぜひ、いらしてください。

●**開館時間** 午前9時~午後9時 日曜日・祝日 午前9時~午後5時

Office Hours: Monday thru Friday & Saturday 9 a.m.-9 p.m. Sundays & Holidays 9 a.m.-5 p.m.

●**休館日** 毎月第4日曜日および年末年始 Closed on the 4th Sunday of every month & New Year holidays